



2022.03.16

## エウロクチャーナ 2022

### 機能的、先端的、技術的なイノベーションから素材開発まで

キッチン業界で最も権威ある見本市「エウロクチャーナ」は今年で23回目を迎え、6月7日から12日まで、ロー市のフィエラミラノで開催されます。同セクターでイタリアと海外のトップ企業が出会い、意見を交換する機会であり、近年最も進化した空間の新しい傾向を発見する唯一無二の機会となります。

第23回「エウロクチャーナ」サローネ国際キッチン見本市は、9ホールと11ホールを中心に、16,000 m<sup>2</sup>を占有し82社が出展、幅広い品揃えと高い品質で出展社を結びつけるだけでなく、トータルリビングを提案する家具メーカーが、それぞれのブースでキッチンの提案を行います。

今回のエウロクチャーナでは、家庭のキッチンが更に**多機能な空間**となり、他の空間との境界がますます曖昧になる現代のキッチンの在り方を見せます。この数年の流行による自然な進化の結果として、キッチンは**流動的でハイブリッドな統合空間**として、また**今日の家庭の絶対的な中心的存在**として、必要なものを提供するだけでなく、社会の集合体として、その地位を確立しています。

ホームオフィスやビデオコール、宿題やリラックスタイムなど、家族の日常生活のほとんど(食事だけでなく)がここに集約されています。その結果、コンロ、オーブン、冷蔵庫、シンク、パントリーといった作業スペースとしてのキッチンはもはや過去の記憶と化し、調理、食事、娯楽、家飲み、会話、仕事、リラックスといったさまざまな**多機能スペース**として変貌しつつあります。**空間はリビングと一体化し、スタイルの連続性、環境の一貫性と均質性を維持しつつ、それぞれの活動のために明確なエリア区分が保たれます。**これは、「家事動線がシームレスであること」、「エリア間の精神的な距離感があること」が重要なポイントになり、空間と感覚の向上を図る工夫がなされているのです。

そのため、**機能性だけでなく、形式的・技術的な革新**に重点を置いたソリューションが採用されています。**アイランド**は、一見コンパクトなブロックが、必要に応じて調理台から食卓まで、



さまざまな機能を発揮する、生き生きとした空間の核となることでしょう。**充実したワインセラー、家庭用温室、ランドリーコーナー**などが新たに登場します。注目すべきは、**本棚や壁掛け型、ルームセンター型のモジュール**が登場し、エレガントで多目的に使用でき、エリアを統合すると同時に、差別化することができることです。また、**隠すキッチンやウォークイン・キッチン**も復活し、機器や家電、パントリー、水栓などを目立たないように隠す扉システムがますます充実します。**ホームオフィス**は、小さく整頓されたワークステーションを内部に隠すユニットや、静かなコーナーに効率的なデスクを挿入できるレイアウト、ワークエリアやコンソール、デスクに簡単に変身できるマルチタスク・スナックボードなどが登場します。最後に、キッチンは**アウトドア**へ進出傾向にあり、ポータブルかどうかにかかわらず、汎用性、実用性、素材と性能の品質を兼ね備えた超整備されたソリューションが登場します。

エウロクテーナでは、プロジェクトにスタイルと個性を与える**素材へのこだわり**を大切にしています。**技術革新**により、**新素材**は表面硬度、耐薬品性、耐摩耗性、耐衝撃性が向上し、紫外線や熱衝撃にも強く、経年劣化の可能性が低くなっています。**新しい仕上げ**は、**ガラス**と同様に、大理石や木などの**自然素材**の外観を再現するテクスチャーを施すことができ、いざれにしても自然とのつながりを生かすことが広く提案されています。

柔らかく、時に丸みを帯びた**フォルム**については、**清潔感と厳格さ**が好まれ、空間の機能性を高めています。その**ニュアンス**は、ここ数年のミニマルな白黒の二項対立を超え、**自然界のカラースペクトラム**からインスピレーションを得て、しばしばキッチンで最もよく使われるスパイス(セージ、ローズマリー、ラベンダー、サフラン、バジル)を思わせるソフトトーンのミックスが選ばれています。**マット仕上げと光沢仕上げ**が混在し、ニュートラルな色調と明るい色調が交互に配置されます。

家の他のスペースと同様に、**サステナビリティ**も2022年の重要なトレンドの一つです。意識の高い消費者の要望に応えるため、企業は**二酸化炭素排出量を抑えた持続可能な生産サイクル**や、**製品のライフサイクルを考慮した耐久性のあるソリューション**への投資を増やしていくと思われま

プレスお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)